

保護者、市民のみなさん！ぜひ一緒にお考えください

「足利の学校教育を考える会」からのパブリックコメントを参照しています。
詳しくは「考える会」のホームページをご覧ください。

- 足利市は、「統合は現在の校舎を使って行い、新しい校舎は作らない」と決定しています。それなら、他のこども現状維持で進められるのではないかでしょうか？
- 計画では、「適正規模」を強調して学年1クラス（単学級）を認めませんが、クラス替えさえできればトラブルは解決できるのでしょうか？クラス替えで良い友人関係が途絶えてしまうことはありませんか？「話し合いで解決する」教育はできないのでしょうか？少人数なら先生にも余裕ができ、ゆっくり、じっくり話し合うこともできると思います。
- 通学距離の問題は心配ではありませんか？国の基準は「小学校4km以内」、この計画では「概ね40分以内」。6kmを越える地域もあります。低学年児童はどうでしょうか。バスに間に合わなければ親が送迎し、親の条件がなければ欠席となるのではないかでしょうか？
- 学校を統合した場合の「通学の条件」や「地域の連携」については、統合後ではなく今、説明して欲しいとは思いませんか？すべてにスクールバスを出せるのでしょうか？
- 登下校中の子どもたちの声が地域を笑顔にしています。歩いていける距離に小・中学校があるのが、「教育の機会均等」（教育の格差の是正）ではないのでしょうか？
- 学校教育の主役である「子どもの意見」が入っていません。「子ども基本法2022」は、子どもの意見を反映させるための必要な措置を講ずる事を義務づけています。自分が学ぶ学校が無くなることについて、子どもたちの声を聞いてみませんか？
- 学校がなくなると、子育て世代の移住者もなく、地域の人口は減るのではないか？
- 「小規模特認校制」は、他市からも高く評価されています。無くして良いのでしょうか？富田、名草、筑波などの地域には小規模校を残し、きめ細かな教育や地域を大切にする姿勢を足利市の魅力としてアピールした方が良いのではありませんか？
- 足利市が作成した「都市計画マスターplan」にあるように、それぞれの地域には特色があり、その特色を生かしてこそ発展もあるのではないか？学校は、地域発展の核ではありませんか？
- 全学校一律の「統廃合計画」ではなく、小規模校を残しての「合同学習・行事」「ICT教育（学校間をつなぐオンライン授業）」など、アイデアを出し合った魅力ある教育にしたいとは思いませんか？
- 「学校の基本活動」は学習です。一人一人を学校全体で、だれも取りこぼさぬようには、少人数の方が良いのではないでしょうか？
- 「不登校児童」には、（フリースクールのように）少人数と教員のきめ細かい指導が必要なのではないでしょうか？
- ※「市の原案」では小規模校のデメリットばかり強調されています。文科省「公立小中学校適正規模・適正配置に関する手引き」には、小規模校のメリットが列挙されており、「過疎地など学校が地域コミュニティの存続に決定的な役割を果たしている等様々な事情により学校統廃合により適正規模化を進めることが困難であったり、小規模校を存続させることが必要である地域…こうしたケースでは、教育の機会均等とその水準の維持向上という義務教育の本旨に鑑み、学校が小規模であることのメリットを最大化し…デメリットを分析し…（それを）最小化する工夫を計画的に講じる必要がある」とあります。
- 「計画」は市議会で議決されますが、議員さんは地域住民の声を聞いているでしょうか？
- なぜ、今、社会変化の激しい10年以上先のことを決めなければならないのでしょうか？「国の補助金」が目的ならば、堂々と市の財政面から説明すべきだとは思いませんか？



「足利の学校教育を考える会」では
会員内外から寄せられたパブリックコメントを掲載しています。